

9月6日 南下町（南下町公民館にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は矢印⇒です。

- お祭りへの支援について、御船の修理には多大な費用が必要となり、これまでの祭りへの補助金や町内会費だけでは対応が困難である。どれくらい支援してもらうことができるのか。
⇒ お祭りへの補助金については、今年度から補助額を6万円引き上げ、15万円としています。御船の修理など大きな事業については、特別の予算措置を行って支援できる場合がありますので、担当課にご相談ください。
- 防災倉庫について、固定資産税が賦課されている。見直しできないか。
⇒ 防災倉庫は減免措置の対象になりますので、必要な手続きをお取りください。
- 大磯港は積み上げられた砂が飛散すると、喘息、窓が汚れるといった被害が懸念される。衛生面から港公園の安全性が大丈夫かも心配である。
⇒ 積み上げている砂の高さがネットの高さを超えているときがあるので、事業者がルールを守るよう、県に指導していただきます。また、水を撒くことを含めて砂の飛散防止策をとるよう、県にお伝えしました。
- 今年が海水浴場開設140周年の記念の年であるが、海の家が1つも出ていない。海水浴場が活性化するよう町も関与してもらいたい。
⇒ 7月に実施した講演会で東京海洋大学からいくつか提言をいただきました。10月から同大学と共同で研究会を始めましたので、海水浴場の活性化策をしっかりと検討していきます。
- 地域内に民泊の施設が開設された。今後、騒音やごみの問題が心配されるが、町としてどのように考えているか。
⇒ 民泊施設があることは決して悪いことではないですが、外国人などのマナーの問題が発生しがちです。民泊の指定は県が行いますので、問題があれば、県と協力して対応していきたいと思います。
- 真鶴町が過疎地域に指定された。大磯町もいずれそうなってしまうのではないかと心配している。若い人が住居がなくて入れないとの話も聞く。空き家活用への補助を行ってはどうか。
⇒ 今年度は空き家の全数調査を行いました。来年度は、空き家の撤去やリフォームへの補助制度を作りたいと考えています。

- OISO CONNECTの飲食店の価格が高く、地元の人が利用しにくい。若手の経営者を誘致してはどうか。
 - ⇒ 令和8年3月で現在の指定管理者の期間が満了となるため、既に次期の指定管理者を決定しています。今回選定されたのは地元の事業者ですので、良い提案を期待しています。

- 犬の散歩をしている方が、敷地内に入ったり、糞を処理しないことがある。
 - ⇒ これまでも注意喚起を行っていますが、より効果的な方法を考えたいと思います。

- 町内会の加入率向上が必要だと思う。ごみ集積場所の利用について、町内会加入を前提としたいが構わないか。
 - ⇒ 町内会加入を強制してしまうと、住民間でわだかまりができてしまうので、慎重な対応が必要だと思います。

- 下町通り（町道幹線9号線）には防犯カメラがないので、予防対策としてダミーでもよいので設置してもらえないか。
 - ⇒ 来年度は町内の防犯カメラの台数を増やす方針です。設置場所は区長さんらと相談しながら進めます。移動式の防犯カメラの導入も検討中です。

- 雨が降っていると防災行政無線が聞こえないことが多いので、無線ではなく有線にしてはどうか。
 - ⇒ スマートフォンアプリ「防災行政ナビ（ライフビジョン）」にて防災行政無線での放送内容を閲覧できるようにしています。また、防災行政無線スピーカーの更新を進めています。

- 管理不全の空き家について、火事などの事件が起きないか心配なので、消防で見回りをするなど、注意を促してほしい。
 - ⇒ 今年度、町内の空き家について全数調査を行いました。ただ、町では空き家かどうかの判断が難しいので、危険な家屋等の情報を町に連絡いただければ、所有者への連絡など優先して対応したいと思います。

- 小中学校でのいじめの問題が深刻であるように思う。いじめ対策を強化していくため、条例制定を進めるとの話を聞いているが、どのようになっているのか。
 - ⇒ いじめ対策のための条例制定を検討していましたが、議会での理解が得られませんでしたので、進めることは難しい状況です。

以上